名前:		学籍番号:	
Linux 上でコマント	、を用いてハードディスク	(SSD)の残り容量を知	るには
入力する。これによ	り、Size すなわち	Used すなわち	Avail す
ちUse	%すなわち	のそれぞれが表示され	<b>いる</b> 。
	:、キーボードから打ち込ん		
実行するとその結果	艮の文字列が表示される画	面、のことを	と呼び
	と呼ぶ。現在使われてい		
	4 文字を表示できるハート		
かを模倣したソフト	、ウェア環境は	と呼ばれる。	
_	と入力すると、画面上に		示される。
_	と入力すると、画面上に		
	己述されるものを		
	SHELL 以外のものをいく <sup>、</sup>		
登録されている上記	己の変数を列挙するために	はコマンド	を入力する
	らって、人間のコマンド入	力と画面出力を支援する	ソフトウェア部分
カーネルの外側にあ	らって、人間のコマンド入 ぢ。これは漢字一文字では <sub>.</sub>		ソフトウェア部分
カーネルの外側にあ		に相当する。	ソフトウェア部分
カーネルの外側にあ と呼込 上記ソフトウェアの	ぶ。これは漢字一文字では <sub>.</sub>	に相当する。 つ列挙せよ	
カーネルの外側にあ と呼ぶ 上記ソフトウェアの 上記ソフトウェアの	ぶ。これは漢字一文字では つうち、代表的なものを 5 こよる入力支援の一つとし	に相当する。 つ列挙せよ て、例えば ec で始まるこ	ー コマンドは echo
カーネルの外側にあ と呼ぶ 上記ソフトウェアの 上記ソフトウェアに ないので、% ec ま	ぶ。これは漢字一文字では いうち、代表的なものを 5 こよる入力支援の一つとし で打ってキーを排	に相当する。 つ列挙せよ て、例えば ec で始まるこ 甲せば、コマンド名後半の	コマンドは echo D ho は自動的に
カーネルの外側にあ と呼込 上記ソフトウェアの 上記ソフトウェアに ないので、% ec ま される。また ca で	ぶ。これは漢字一文字では つうち、代表的なものを 5 こよる入力支援の一つとし で打ってキーを排 始まるコマンドは複数ある	に相当する。 つ列挙せよ て、例えば ec で始まるこ 甲せば、コマンド名後半の るので、 % ca まで打って	コマンドは echo D ho は自動的に こキー
カーネルの外側にあ と呼込 上記ソフトウェアの 上記ソフトウェアの ないので、% ec ま される。また ca で 回押せば、ca で始	ぶ。これは漢字一文字では のうち、代表的なものを 5 こよる入力支援の一つとし で打ってキーを排 始まるコマンドは複数ある まるコマンドの候補が列挙	に相当する。 つ列挙せよ て、例えば ec で始まる 甲せば、コマンド名後半の るので、 % ca まで打って さされるのでさらに数文字	コマンドは echo D ho は自動的に [キー 三入力することで
カーネルの外側にあ と呼ぶ 上記ソフトウェアの 上記ソフトウェアの ないので、% ec ま される。また ca で 回押せば、ca で始 肢を選ぶことができ	ぶ。これは漢字一文字では のうち、代表的なものを 5 こよる入力支援の一つとし で打ってキーを持 始まるコマンドは複数ある まるコマンドの候補が列挙 まる。 この入力支援機能	に相当する。 つ列挙せよ  て、例えば ec で始まる  甲せば、コマンド名後半の るので、 % ca まで打って  さされるのでさらに数文学 はアーギュメントにも適	コマンドは echo D ho は自動的に [キー 三入力することで 用できる。
カーネルの外側にあ と呼ぶ 上記ソフトウェアの 上記ソフトウェアの ないので、% ec ま される。また ca で 回押せば、ca で始 肢を選ぶことができ % cat /etc/pas ま	ぶ。これは漢字一文字では のうち、代表的なものを 5 こよる入力支援の一つとし で打ってキーを持 始まるコマンドは複数ある まるコマンドの候補が列挙 まる。 この入力支援機能 で入力してキーを	に相当する。 つ列挙せよ  て、例えば ec で始まる  甲せば、コマンド名後半の るので、 % ca まで打って  さされるのでさらに数文学 はアーギュメントにも適	コマンドは echo D ho は自動的に [キー 三入力することで 用できる。
カーネルの外側にあ と呼込 上記ソフトウェアの 上記ソフトウェアの ないので、% ec ま される。また ca で 回押せば、ca で始 肢を選ぶことができ % cat /etc/pas ま イル% cat /etc/pas	ぶ。これは漢字一文字では のうち、代表的なものを 5 こよる入力支援の一つとし で打ってキーを持 始まるコマンドは複数ある まるコマンドの候補が列挙 きる。 この入力支援機能 で入力してキーを swd まで補完される	に相当する。 つ列挙せよ て、例えば ec で始まる 甲せば、コマンド名後半の るので、 % ca まで打って さされるのでさらに数文字 はアーギュメントにも適 を押せば、/etc の下で pas	コマンドは echo D ho は自動的に こキー 三入力することで 用できる。 こで始まる唯一の
カーネルの外側にあ と呼込 上記ソフトウェアの 上記ソフトウェアの ないので、% ec ま される。また ca で 回押せば、ca で始 肢を選ぶことができ % cat /etc/pas ま イル% cat /etc/pas 上記 cat コマンドは	だ。これは漢字一文字では のうち、代表的なものを 5 こよる入力支援の一つとし で打ってキーを担 始まるコマンドは複数ある まるコマンドの候補が列挙 きる。 この入力支援機能 で入力してキーを swd まで補完される 、を意味する_	に相当する。 つ列挙せよ  て、例えば ec で始まる  甲せば、コマンド名後半の るので、 % ca まで打って さされるのでさらに数文字 はアーギュメントにも適 を押せば、/etc の下で pas	コマンドは echo D ho は自動的に ニキー 三入力することで 用できる。 で始まる唯一の 英単語の一部であ
カーネルの外側にあ と呼込 上記ソフトウェアの 上記ソフトウェアの ないので、% ec ま される。また ca で 回押せば、ca で始 肢を選ぶことができ % cat /etc/pas ま イル% cat /etc/pas 上記 cat コマンドは ルートの下の/etc	ぶ。これは漢字一文字では のうち、代表的なものを 5 こよる入力支援の一つとし で打ってキーを持 始まるコマンドは複数ある まるコマンドの候補が列挙 きる。 この入力支援機能 で入力してキーを swd まで補完される ここことには様々なフ	に相当する。 つ列挙せよ  て、例えば ec で始まる  甲せば、コマンド名後半の るので、 % ca まで打って さされるのでさらに数文字 はアーギュメントにも適ら を押せば、/etc の下で pas という プログラムの挙動を制御す	コマンドは echo D ho は自動的に こキー E入力することで 用できる。 で始まる唯一の 英単語の一部であ
カーネルの外側にあ と呼込 上記ソフトウェアの 上記ソフトウェアの ないので、% ec ま される。また ca で 回押せば、ca で始 肢を選ぶことができ % cat /etc/pas ま イル% cat /etc/pas 上記 cat コマンドは ルートの下の/etc イルが入っている。	だ。これは漢字一文字では のうち、代表的なものを 5 こよる入力支援の一つとし で打ってキーを担 始まるコマンドは複数ある まるコマンドの候補が列挙 きる。 この入力支援機能 で入力してキーを swd まで補完される 、を意味する_	に相当する。 つ列挙せよ  て、例えば ec で始まる  甲せば、コマンド名後半の るので、 % ca まで打って さされるのでさらに数文字 はアーギュメントにも適ら を押せば、/etc の下で pas という プログラムの挙動を制御す	コマンドは echo D ho は自動的に こキー E入力することで 用できる。 で始まる唯一の 英単語の一部であ
カーネルの外側には と呼込 上記ソフトウェアの 上記ソフトウェアの ないので、% ec ca で 回押せば、ca で始 肢を選ぶことができ % cat /etc/pas ま イル% cat /etc/pas ま イル% cat /etc/pas ま イルの下の/etc イルが入っている。 ついている	ば。これは漢字一文字では つうち、代表的なものを 5 こよる入力支援の一つとし で打ってキーを担 が始まるコマンドは複数ある まるコマンドの候補が列挙 まる。 この入力支援機能 で入力してキーを wd まで補完される こことでは様々なフェイルの多く	に相当する。 つ列挙せよ  て、例えば ec で始まる  甲せば、コマンド名後半の るので、 % ca まで打って さされるのでさらに数文字 はアーギュメントにも適 を押せば、/etc の下で pas というす はというサフィ	コマンドは echo D ho は自動的に こキー こ入力することで 用できる。 で始まる唯一の 英単語の一部であ ックス(接尾辞
カーネルの外側にあ と呼ぶ 上記ソフトウェアの 上記ソフトウェアの ないので、% ec ま される。また ca で 回押せば、ca で始 肢を選ぶことができ % cat /etc/pas ま イル% cat /etc/pas 上記 cat コマンドは ルートの下の/etc イルが入っている。 入力支援に関する。	で、これは漢字一文字では、 つうち、代表的なものを 5 こよる入力支援の一つとし で打ってキーを担 を始まるコマンドは複数の列等 まるコマンドの候補が列等 まる。 この入力支援機能 で入力してキーを ないで補完される を意味する」 ディレクトリには様々なフ これらのファイルの多く	に相当する。   つ列挙せよ   て、例えば ec で始まる。   甲せば、コマンド名後半のるので、% ca まで打ってきされるのでさらに数文字はアーギュメントにも適けませば、/etc の下で pasを押せば、/etc の下で pasを制御する。というサフィスカしたコマンドラインの	コマンドは echo D ho は自動的に 二 二 一 一 入力すること 用で始まる唯一の 英単語の一部でを ックス(接尾辞 の履歴が保存され
カーネルの外側にませれる。 上記ソフトウェアの 上記ソフトウェアの 上記ソフトウェアの またいので、またでは では、ことができませば、ことができます。 % cat /etc/pas まれル% cat /etc/pas まれいのではでは、 上記になるでいる。 イルがしている。 入力支援に関するいる。 る。今までに入力し	に、これは漢字一文字では、 うち、代表的なものを 5 こよる入力支援の一つとして で打ってキを数ある。 まるコマンドは複数が列挙 まるコマンドの候補が列挙 まる。 この入力支援機能で入力してキーを で入力してキーを ではまで補完される にはなった。 ディレクトリには様々なフェイルの多く になって、これらのファイルの多く いたコマンドの履歴は	に相当する。   つ列挙せよ   て、例えば ec で始まる。   でがまるでは、コマンド名後半ので、% ca まで打ってきるに数文字はアーギュメントにも適けを押せば、/etc の下で pasを押せば、/etc の下で pasを対したコマンドラインのよう	コマンドは echo D ho は自動的に 二人力するここ 一人力する。 まで始まる。唯一の 英単語の一部でを カース (接尾辞) でを入力する。
カーネルの外側には と呼ぶ 上記ソフトウェアの 上記ソフトウェアの される。また ca でででまれる。は、ことがで、またとがでまれるがでででででででない。ながでは、ことがのとは、とれかののをは、からないのではないでは、これがいている。とれる。をされる。直近のいる。をされる。をでは、これの外には、これがいて、これがいいでは、これがいて、これがいて、これがいて、これがいて、これがいて、これがいいでは、これがいでは、これがいでは、これがいいがいがいいがいいがいいがいいがいいがいいがいいがいいがいいがいいがいいが	で、これは漢字一文字では、 つうち、代表的なものを 5 こよる入力支援の一つとし で打ってキーを担 を始まるコマンドは複数の列等 まるコマンドの候補が列等 まる。 この入力支援機能 で入力してキーを ないで補完される を意味する」 ディレクトリには様々なフ これらのファイルの多く	に相当する。 つ列挙せよ  て、例えば ec で始まる 甲せば、コマンド名後半の るので、 % ca まで打って さされるのでさらに数文字 はアーギュメントにも適力 と押せば、/etc の下で pas と押せば、/etc の下で pas はというサフィ はという はという はという はという はという はという はという はという	コマンドは echo D ho は自動的に こ

マンドの方へ逆向きに戻ってくる。

上記により履歴を遡って表示されたコマンドラインはそのままリターンキーを押してもう
一度実行することもできるし、カーソルを移動して編集し、修正したコマンドラインを実行
することもできる。このカーソル移動は、矢印のついたカーソルキーによっても行えるが、
コントロール(ctrl)キーを用いて行うこともできる。カーソルを一つ左に動かすには、
ctrl+とし、一つ右に動かすには ctrl+とする。さらにバックスペースキーと同様の挙
動として、カーソルの左の文字を一つ消去するには ctrl+とし、デリートキーを押すの
と同様の動作としてカーソル直下の文字を一つ消去するには ctrl+とする。コマンド
ラインが乱れて、そのままリターンキーで入力したくない状態になってしまった時には、
ctrl+とすれば、コマンドラインを実行せずに終了することができる。
コマンド履歴を利用するもう一つの方法として、エクスクラメーションマークによるもの
がある。一つ前のコマンドを実行するにはとした後にリターンキーをうつ。ec では
じまる直近のコマンドを実行するにはとした後にリターンキーをうつ。履歴を
表示するコマンドのリストの左側に 12 と記されたコマンドを実行するにはとし
た後にリターンキーをうつ。
コマンドの挙動を変えるアーギュメントであるオプションには、ハイフン1つの右にアル
ファベット1文字をつけるオプションと、ハイフン2つの右に1文字以上
のを記述するオプションがある。前者のアルファベットは複数を組み
合わせて挙動の変化も組み合わせることができる。例えば ls コマンドの l オプションと a
オプションを組み合わせるには lsの様にコマンドラインを記述する。後者の例とし
て、ls コマンドの出力を逆順で表示するには lsの様にする。
ls コマンドのオプションとして、-F をつけると、表示されるものの種類によって右側に記
号が表示される。がつくのはディレクトリ、がつくのは実行可能ファイル、が
つくのはシンボリックリンクである。
コマンドの使い方について調べたい時、二つの方法がある。まず、それぞれのプログラムに、
ロングオプションとしてを付加して実行する方法である。もう一つは、コマン
ドのアーギュメントとして、調べたいコマンド名を付加する方法である。
上記の後者は、後で説明する less というコマンドの機能を利用して、非常に長いテキスト
情報を画面に表示する。less ではまず先頭から1画面分の情報が表示されて止まる。ここで
キーを打てば次の1画面が表示され、同じキーを打つごとに順次次のページが表示される。
何ページか下に行ったところで、キーを打てば1画面ずつ上に戻ることもできる。
less による画面の表示を終了するにはキーを入力する。